

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法の例 (1/6)

3 汚水の処理の方法

イ. 汚水の処理施設 (除害施設) の設置場所 (添付図-1 のとおり。)

ロ. 汚水の処理施設 (除害施設) に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日

工事着手予定年月日 令和 年 月 日

工事完成予定年月日 令和 年 月 日

使用開始予定年月日 令和 年 月 日

ハ. 汚水の処理施設 (除害施設) の種類, 型式, 構造, 主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方式

記入上の注意

(1) 「汚水の処理施設 (除害施設) の設置場所」

添付図-1 に記入して下さい。

(2) 「汚水の処理施設 (除害施設) に係る工事の着手及び完成並びに使用開始の予定年月日始」

除害施設の新設又は構造等の変更の場合に記入して下さい。

(3) 「汚水の処理施設 (除害施設) の種類, 形式, 構造, 主要寸法及び能力並びに汚水の処理の方法」

① 「種類」 除害施設の名称は処理対象汚水, 処理機能などから判断し記入して下さい

② 「形式」・「構造」・「主要寸法」 除害施設を構成する各種装置別に記入して下さい。

③ 「能力」 設計上の能力1日 (稼動時間) 当りの数値を記入して下さい。また, 槽などは有効容量を記入して下さい。

④ 「処理の方法」 汚水の種類毎に方法名を記入して下さい。

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法の例 (2/6)

ニ. 汚水の処理の系統 (添付図-3 のとおり。)

ホ. 汚水の集水及び汚水の処理施設 (除害施設) までの導水の方法 (添付図-1, 2 のとおり。)

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理の系統」
処理の概要を記入し、添付図-3 に処理系統を色分けして下さい。
- (2) 「汚水の集水および汚水の処理施設 (除害施設) までの導水の方法」
汚水の集水及び導水の概要を記入し、添付図-1, 2 に系統別に色分けして下さい。

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法の例 (3/6)

へ. 汚水の処理施設 (除害施設) の使用時間間隔及び 1 日当り使用時間並びにその使用の季節的変動の概要

処理施設の名称 (除害施設)	使用時間間隔	1 日当りの使用時間	季節的変動の概要	備考

ト. 汚水の処理施設 (除害施設) において使用する消耗資材の 1 日当りの用途別使用量

処理施設の名称 (除害施設)	消耗資材名	用途別	1 日当りの使用量	備考

記入上の注意

- (1) 「汚水の処理施設 (除害施設) の使用時間間隔及び 1 日当りの使用時間並びにその使用の季節的変動の概要」
 - ① 「処理施設 (除害施設) の名称」
名称は 3 汚水の処理の方法ハの種類と同じ名称を記入して下さい。
 - ② 「使用時間間隔」
除害施設の稼働時間帯を記入して下さい。間欠式運転の場合はそれぞれの時間帯を記入して下さい。
 - ③ 「1 日当りの使用時間」
1 日当りの除害施設の延べ運転時間を記入して下さい。
- (2) 「汚水の処理施設 (除害施設) において使用する消耗資材の 1 日当りの用途別使用量」
 - ① 「消耗資材名」除害施設の稼働に必要な薬品等を記入して下さい。この場合、電気、上水、ガスは記入しないで下さい。
 - ② 「用途別」消耗資材別に用途を記入して下さい。1 つの資材で複数の用途のあるものについてはそれぞれ記入して下さい。
 - ③ 「1 日当り使用量」消耗資材別の量を記入しますが、薬品の場合は、その濃度を記入して下さい。
 - ④ 「備考」消耗資材のメーカー及び薬品の使用濃度を記入して下さい。

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法 (4/6)

チ. 汚水の処理施設 (除害施設) による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量

処理施設名	水量・水質 汚水量 (m ³ /日)		処 理 前 水 質										
			温度 (度)		アンモニア性窒素等 (mg/L)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	

処 理 前 水 質													
ノルマルヘキサン 抽出物質 (mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		沃素消費量 (mg/L)		ダイオキシン (pg/L)			
鉱油類		動植物油脂類		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処 理 前 水 質																	
フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)		亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処 理 前 水 質																	
鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)		水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ふっ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法の例 (5/6)

記入上の注意

(1) 「汚水の処理施設（除害施設）による処理前及び処理後の汚水の水質及び水量」

- ① 「汚水量」 除害施設での処理系統が複数である場合は、その系統毎に汚水量を記入して下さい。（この汚水量は除害施設の処理前後の水量のことであり、特定施設からの汚水量とは一致しない場合があります。）
- ② 「処理前水質」作業工程、使用原材料等から判断して該当する項目を定め、その分析値または推定値を記入して下さい。
- ③ 「処理後水質」 ②と同様に記入して下さい。

水量・水質 処理施設名	汚水量 (m ³ /日)		処 理 後 水 質										
			温度 (度)		アンモニア性窒素等 (mg/L)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	

処 理 後 水 質													
ノルマルヘキサン 抽出物質 (mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		沃素消費量 (mg/L)		ダイオキシン (pg/L)			
鉱油類		動植物油脂類		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

処 理 後 水 質																	
フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)		亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

別紙 (3) 3 汚水の処理の方法の例 (6/6)

処 理 後 水 質																	
鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)		水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化 ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ふっ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

リ. 汚水の処理によって生ずる残さの種類及び1月間の種類別生成量並びに処理の方法の概要

残 さ の 種 類	生成量 (t/月)	処 理 の 方 法 の 概 要	備 考

ヌ. 汚水を公共下水道へ排除する方法 (排水口の位置及び数並びに排出先を含む。) (添付図-1のとおり。)

ル. その他参考事項

記 入 上 の 注 意

- ① 「残さの種類」
除害施設から生ずる各種廃棄物を記入して下さい。この廃棄物は通常汚泥ですが、その他に廃油、廃酸・廃アルカリなどがありますので残さの種類毎に分けて記入して下さい。
- ② 「生成量」
残さの種類毎に生成量を記入して下さい。(除害施設の設計上の能力から判断し、推定量を記入することもできます。)なお、量には必ず水分、油分などの割合をあわせて記入して下さい。
- ③ 「処理方法の概要」
残さの種類毎に、保管方法、収集運搬業者名、処分業者名を記入して下さい。また、産業廃棄物処理委託契約書の写しがあれば添付して下さい。
- ④ 「その他参考事項」
除害施設の建設費及び調達資金の内訳を記入して下さい。

別紙 (4)

4 下水の量及び水質

イ. 公共下水道への排水口における水量及び水質

排水口	水量・水質		水質										
	汚水量 (m ³ /日)		温度 (度)		アンモニア性窒素等 (mg/L)		pH		BOD (mg/L)		SS (mg/L)		
	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	

水質													
ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/L)				窒素 (mg/L)		燐 (mg/L)		沃素消費量 (mg/L)		ダイオキシン (pg/L)			
鉱油類		動植物油脂類		通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大
通常	最大	通常	最大										

水質																	
フェノール (mg/L)		銅 (mg/L)		亜鉛 (mg/L)		溶解性鉄 (mg/L)		溶解性マンガン (mg/L)		クロム (mg/L)		カドミウム (mg/L)		シアン (mg/L)		有機リン (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

水質																	
鉛 (mg/L)		六価クロム (mg/L)		ヒ素 (mg/L)		水銀 (mg/L)		アルキル水銀 (mg/L)		ポリ塩化ビフェニル (mg/L)		トリクロロエチレン (mg/L)		テトラクロロエチレン (mg/L)		ふっ素 (mg/L)	
通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大	通常	最大

ロ. その他の参考事項

記入上の注意

- ① 「排水口名」排水口は原則として工程系下水と生活系下水に分けて記入して下さい。
- ② 「下水量」各々の排水口での量であり、同じ排水口に工程系下水と生活系下水が混合する場合区分して記入して下さい。
- ③ 「水質」排水口毎の水質を記入して下さい。(工程系の下水の場合除害施設の出口の水質と一致しないことがあります。)

別紙 (5)

5 用水及び排水の系統

イ. 用水及び排水の系統 (添付図-1 のとおり。)

ロ. 用途別用水使用量 (単位 m^3 /日)

水源別用水量							
総使用量	公共用水道		その他				海 水
	工業用水道	上水道	地表水	伏流水	井戸水	その他	

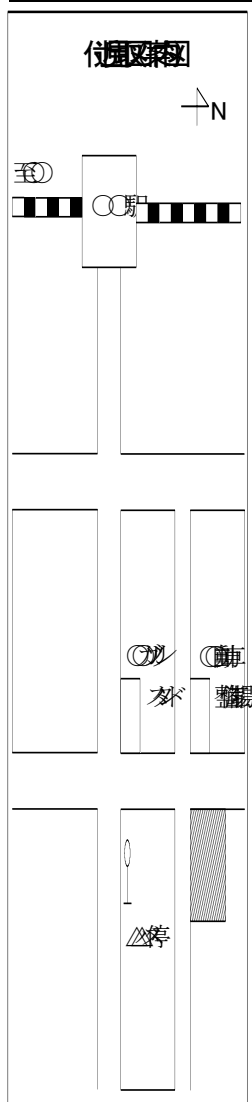
用途別用水量					
ボイラー用水	原料用水	製品処理用水 及び洗浄用水	冷却用水	温調用水	その他

記入上の注意

- (1) 「用水及び排水の系統」
添付図-1 に用水系と污水系を色分し公共下水道へ接続する排水口の位置等を明示し記入して下さい。
- (2) 「用途別用水使用量 (単位 m^3 /日)」
水源別及び用途別用水量を各々について通常 (日平均) と認められる量を記入して下さい。

参 考 事 項

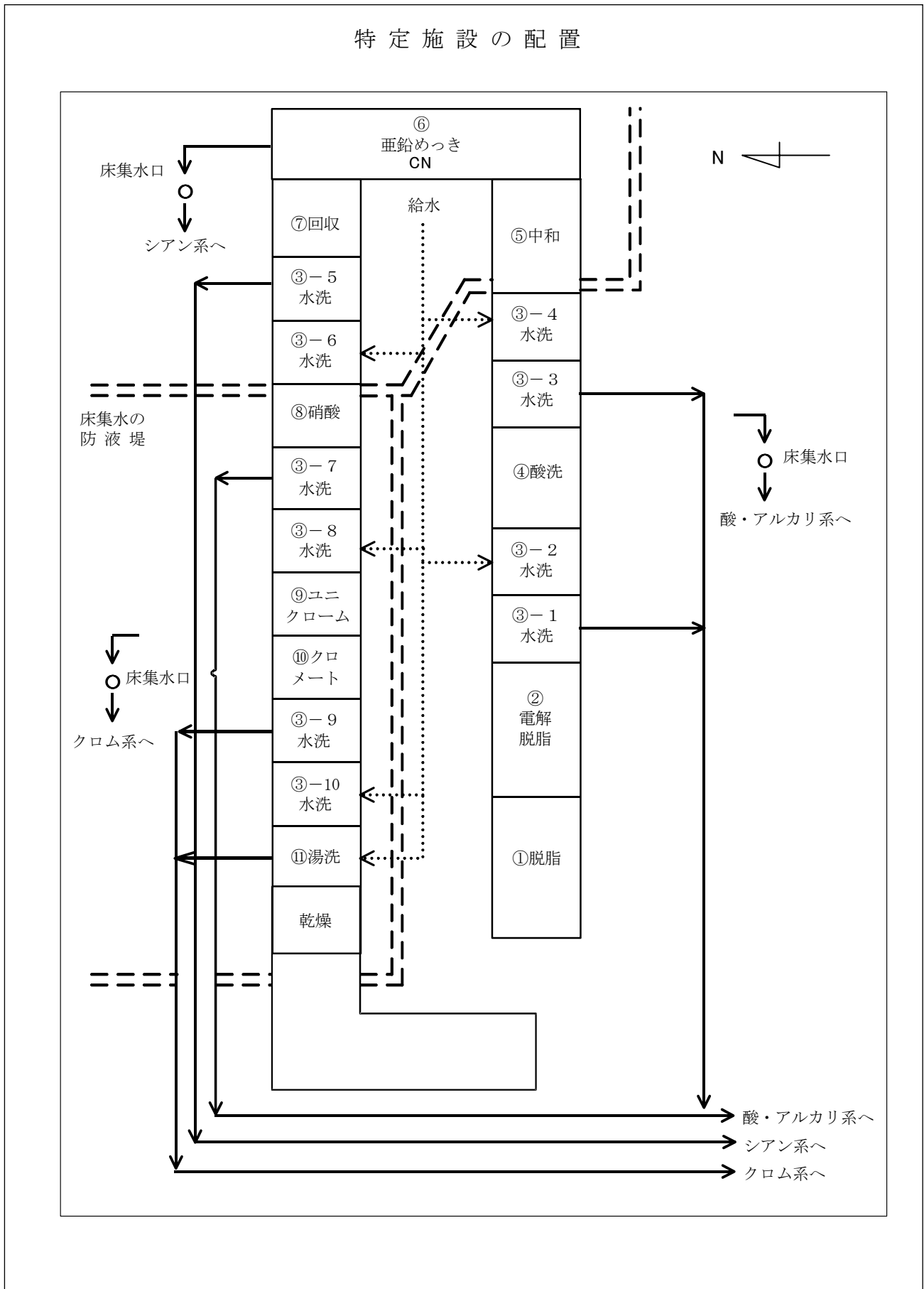
資 本 金		従 業 員 数	人
主 要 製 品		操 業 時 間	
敷 地 面 積	m ²	建 物 面 積	m ²
担 当 部 課 係 電 話		担 当 者	



記 入 上 の 注 意

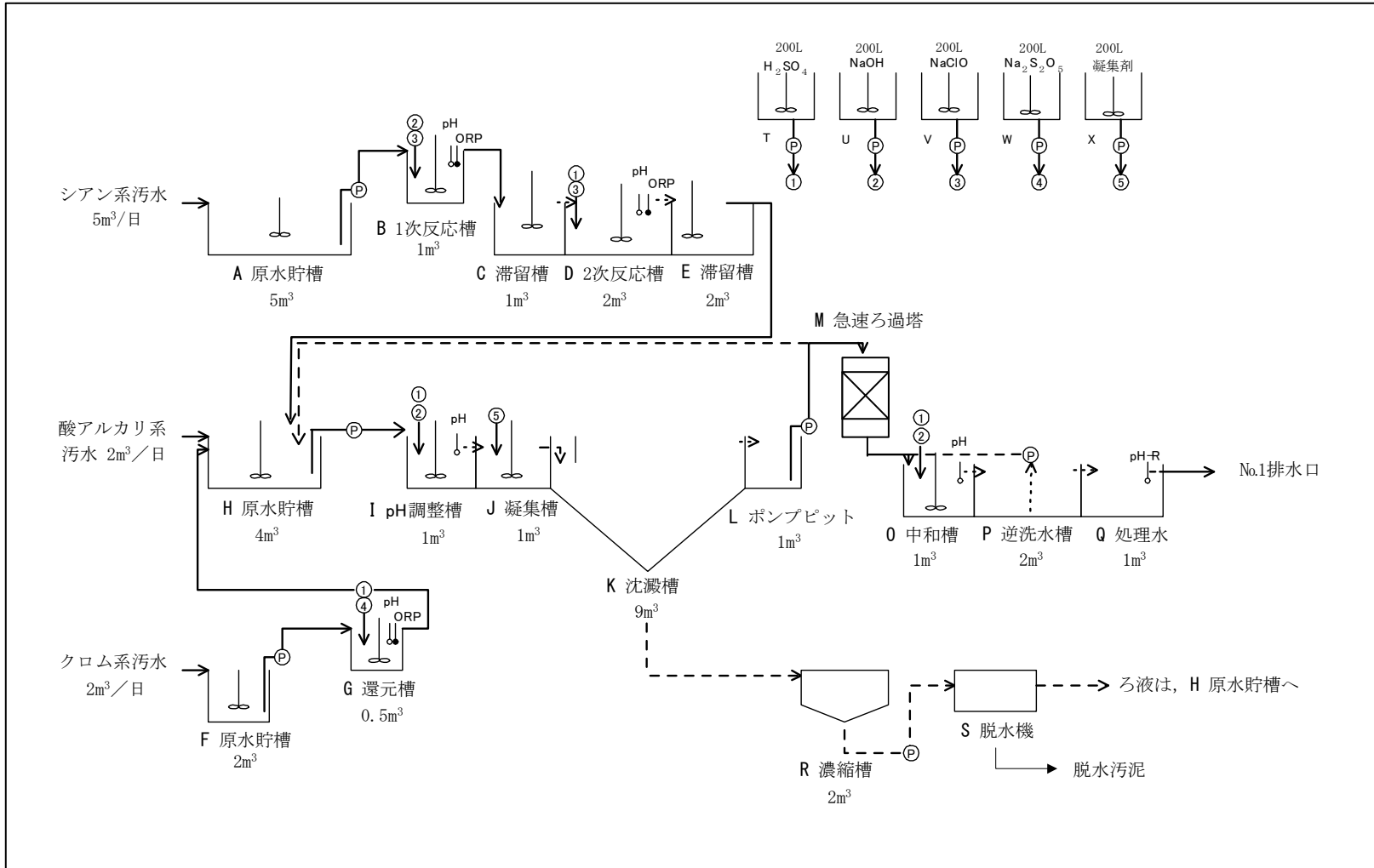
- (1) 「従業員数」
届出の対象となっている事業場の従業員数を記入し、本社等がある場合は全従業員数を () 内に記入して下さい。
- (2) 「付近見取図 (案内図)」
事業場の付近の道路、目印となるもの及び鉄道等をわかりやすく記入して下さい。

添付図-2 特定施設の配置の例



添付図-3 汚水の処理工程図の例 (1/2)

汚水の処理工程図 (めっき排水処理フロー)



添付図-3 汚水の処理施設配置図の例 (2/2)

汚水の処理施設配置図 (めっき排水処理平面図)

